



2013年 除間伐後のラブアースの森



# ラブアースの森づくり in 白老 2015

## 森づくりの時間

- 9:45 トラストの森（集合場所は別途ご案内します）
- 10:00 ~ 除間伐作業、シカ被害対策ネット取付作業
- 12:30 ~ 森で昼食パーベキュー（白老牛、ジンギスカン等）
- 13:30 ~ フットパスウォーキング（ウヨロ川の自然やサケ遡上観察）
- 15:00頃 現地解散

## 「ラブアースの森」とは

白老町の「ラブアースの森」は、全道一斉ごみ拾い「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」の関連事業として、NPO法人ウヨロ環境トラストが管理するウヨロ川中流部の砂利採取跡地で、2006～2010年までカミネッコン（段ボール植樹柎）を使用して森林再生のための植樹が行われました。植樹は、北海道市民環境ネットワーク「きたネット」が主催し、会員やラブアース・クリーンアップ in 北海道の参加者、支援企業などにより実施されました。残念ながら植栽木の成長はあまり良いとはいえませんが、その植樹地には周辺のカラマツ、シラカバ、ハンノキなどから種が飛んできて苗が育ち、現在はそれらが大変混んだ状態で育っています。特に、カラマツは5m以上の高さになっており、間伐（抜き切り）が必要な状態です。



2008年植樹当時のラブアースの森



2008年ラブアースの森植樹



カミネッコンの手渡し



2010年植樹活動の参加者

## 放置人工林の手入れの取り組み



周辺の放置人工林

この「ラブアースの森」周辺には、植栽後手入れがされず放置されたままだったカラマツ人工林がたくさんあります。NPO法人ウヨロ環境トラストでは、放置された人工林を拾い出し、所有者を調べて連絡をとり、同意を得られたカラマツ林の間伐を行ってきました。そして、間伐作業で伐採した材は、製材や紙の原料のパルプ材として利用するほか、丸太そのものの利用方法としてログハウスや門などに利用しており、そのログ活用方法を学ぶ研修会なども行っています。



間伐の伐採作業



間伐材の集材作業



間伐材を使ったログハウス



ログ活用研修会



## 参加申込書

問い合わせ先

**認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク「きたネット」**

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル5F Tel: 011-215-0148

お申し込みは FAX: 011-215-0149 E-mail: office@kitanet.org

お名前・年齢	(オ)	送迎バスの希望
連絡先住所	〒	有 ・ 無
電話番号・FAX・E-mail ※電話番号は当日連絡できる番号	TEL FAX E-mail	
他参加者のお名前・年齢		

当日のご案内は、メール・FAX・郵送のいずれかでお送りします。